

おち町

議会だより OCHI TOWN

№139

2022 (R4) 2/1
高知県越知町議会



夢に向かって 1/3 (3面参照)

12月定例会

- 2P 中学生議会が開催される
- 13P 町長・町議会議員選挙は公営に (条例の制定)
- 15P 浅尾沈下橋、地域おこし協力隊など7人が問う (一般質問)
- 23P まち・ひと・しごと創生総合戦略評価・検証

議会です
こんにちは



私の役割

越知町と県庁をつなぐこと、いち早く情報を共有し、越知町のお役に立つことができると思っています。

136号から活発な女性を紹介しています。写真は、小規模ほ場整備完了検査写真を撮っている産業課補佐の笹岡さんです。

信条

- ・現場に足を運ぶ
 - ・現場の意見を聞く
 - ・みんなの話をよく聞く
- これは私の仕事のもとです。答えは現場にあるのです。一生現場と関われる仕事をしたいです。

越知の農業

越知町は露地栽培が主ですが、薬用作物などがあり、やり方次第で面白いと思います。山が廃れたら、平場も廃れると思っています。真摯に取り組みます。



ささおかみさき
笹岡美佐子さん
越知町産業課勤務
(高知県より派遣)
いの町

自己紹介

人事交流で県庁からやってきました。パートナー1人、娘と息子がいます。初任地は旧窪川町でした。

土佐茶女子会

土佐茶普及促進女性会議の立ち上げに関わりました。土佐茶の飲み比べや勉強会をしています。

議会を傍聴しませんか
12月定例会の傍聴者は延べ35人でした。次の定例会は3月4日開会の予定です。大勢の傍聴をお待ちしています。



越知の好きなところ

全部好きです。人が本当にやさしいし、親切だと思います。皆さんとお話できるのが嬉しいです。

編集後記

今年の4月から、民法の改正により成人年齢が18歳に引き下げられ、18歳で自己判断や社会的責任を求められるようになります。必要に応じてアドバイスすることが大事ではないでしょうか。

今号では、10月21日に開催された、中学3年生の中学生議会と中学2年生の12月議会見学を掲載しています。

中学生議会は、4班に分かれて、住みやすい環境づくりなど、町の発展のための提案をしています。議会を経験したことで、社会や政治に興味を持っていたのではないかと思います。

これからも、読みやすい紙面の編集に努め、多くの町民の方に議会だよりを見ていただきたいです。

《森下》

編集・発行責任者	議長 寺村 晃 幸
議会広報常任委員会	委員長 高橋 文一
	副委員長 箭野 久美
	委員 市原 静子
	委員 小田 範博
	委員 森下 安志

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見を寄せください。

2年生が議会を見学



Contents No.139 Feb 2022

4 中学生議会一般質問
遊ぶ場所を増やすなど

8 議会見学感想文

11 議案質疑
保育園改修工事に質疑集中

13 こんなことが決まったぜよ
町長・町議会議員選挙は公営など

15 7人が一般質問
浅尾沈下橋、地域おこし協力隊など

23 全員協議会
まち・ひと・しごと創生総合戦略
評価・検証

27 広域議会

28 議会ですこんにちは
連載：Active Woman④

感想文を8ページに掲載



歩道のガタガタを直して

3班 岡崎力丸議員 小田野乃花議員 西本聖音議員
(北川奈菜実議員) … 6ページ



詳しいことを記載した地図を

4班 黒岩歩未議員 安部日瑠里議員 織田翔也議員 岡このみ議員
… 7ページ

3年生による中学生議会が開催される



北川奈菜実議長



遊ぶ場所を増やす(公園を造る)

1班 畠中太暉議員 山本邑樹議員 西森琉晟議員 藤原惇貴議員
… 4ページ



坂道や階段に手すりを

2班 麻田悠斗議員 西川知孝議員 西森海悺議員 河添雄帆議員
… 5ページ

10月21日に、総合学習の一環として、中学3年生による模擬議会が開催されました。
4班に分かれて、執行部に対して町の課題について質問し、解決策を提案しました。
また、2年生が12月定例会一般質問を見学しました。

質問・提案は4ページから7ページに掲載



1月3日に町民会館で新成人の集いが規模を縮小して開催され、34人が参加しました。

1班



公園の管理は

遊び場や公園などの公共の施設はどのように管理しているのですか。また、それにかかる維持費はどの程度になっていますか。

トイレなど月に1度

維持管理費は、年間約120万円です。

観光協会に委託

岡田環境水道課長 児童公園の広場や遊具、トイレなどの管理を月に一度行っています。公園を快適に利用できるように、トイレの清掃、電灯や水道、トイレトペーパーの点検修繕も

大原企画課長 宮の前公園の管理は、草刈り・トイレの掃除などを観光協会に委託しています。草刈りの費用、電気・水道料金、仮設トイレのリース代などで年間約230万円です。

遊具案

- ・運動道具や子どもでも楽しめる遊具など。
- ・危なく無いように対策などした遊具など。
- ・この公園のシンボルになるような遊具など。

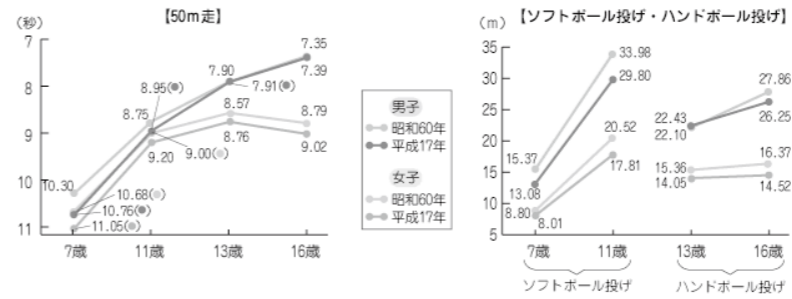


遊ぶ場所を増やす (公園を造る) 検討したい 町長

現状

- ・市街地に広い公園が無い
- ・屋内で遊ぶことや許可をとって校庭(越知小)で遊ぶことが多かった
- ・子供の運動能力、自分の体を操作する能力が低下している

20年前との基礎的運動能力の比較



(画像：子供の運動能力の現状より)

遊ぶ場所を増やす

『遊ぶ場所を増やす(公園を造る)』提案をします。

子どもの運動能力は30年前に比べて、大きく低下しています。靴の紐を結べない、スキップができないなど、自分の体を操作する能力の低下も指摘されています。

このような課題を解決するために、体を動かせる場として、また親子で遊べる場所としての公園

づくりを提案します。

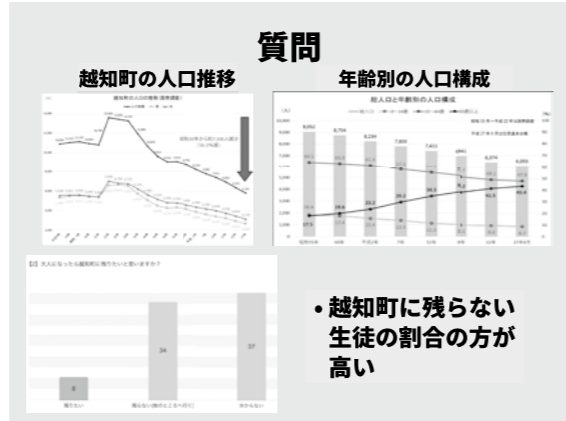
街の中心部の空き家を解体して公園にすることや、宮の前公園に遊具の設置などはできないでしょうか。

検討したい

小田町長 宮の前公園は、たびたび浸りますし、河川敷は、国、県が管理しており、許可がないと遊具等を設置することができません。公園を造るには、広い土地の確保や、多額な費用が掛かりますが検討したいと思います。

坂道や階段に手すりを

調査検討したうえで判断 建設課長



住みやすい施策は

高齢化が進んでいますが、高齢者が住みやすい家、生活しやすい町にしていくための施策にはどのようなものがあるのでしょうか。その取り組みを行うことでどのようなことが改善されたのか教えてください。

リフォーム補助金など

国貞保健福祉課長

高齢者が住みやすい家にするために、30万円以上のリフォーム工事に對して、最大20万円の越知町住宅リフォーム補助金を用意しています。

高齢者が生活しやすい町にするための施策は、①町民バス(有料)を町内全域に運行。

②介護認定を受けていない高齢者の外出支援にハイヤーチケットを交付。

③一人暮らしや、高齢者のみの世帯には、定期的に見守り訪問を行い、希望者には、週1回お弁当(有料)を配達。

④一人暮らしや、高齢者のみの世帯には、家具の転倒を防止する金具の取り付けをする人を無料で派遣。

⑤休憩場所として越知のまち小屋を建設。これらの施策により、一人暮らしや、高齢者のみの世帯が、安心して生

活できる環境整備に努力しています。

手すりを

提案 高齢者が集落内の階段や坂を登るときに、手すりをつけてはどうか。

家屋や施設のバリアフリー化や道路のユニバーサルデザインの導入も進めてほしいです。

調査したうえで判断

岡田建設課長

坂道や階段への手すりの取り付けは、実際に現地に行つて、調査・検討したうえで判断をします。

今後の道路工事は、ユニバーサルデザインを導入することも考慮し、安心・安全に暮らしていただけるように、今まで以上に広くて通行しやすい歩道、段差や傾斜・勾配の少ない道路づくりを進めていきます。

公共施設はバリアフリー化

井上総務課長

本町の公共施設も新築や改築を行う場合は、障がい者専用の駐車スペースやスロープ、車いすでも利用できるトイレなどバリアフリー化を行っています。

提案内容

(1)ご老人が鎌井田の階段や坂を登るときにしんどそうにしている時があります。

傾斜が急な小道や、階段に手すりをつけてみてはどうでしょうか?



鎌井田の傾斜の急な坂道



2班



3班



道路などの点検は
安全な通行を保つために、越知町の道路や歩道、街路灯の点検はどのように行っていますか。
また、路線バス(黒岩観光)の利用者を増やすためのような取り組みを行っていますか。

工事現場へ行くときに

岡田建設課長 道路の点検は、建設課の職員が工事現場等へ行くときや大雨の後にパトロールをしています。
管理する道路は、300キロメートル以上あり、職員が全てを点検することは困難なので、地域から情報提供をいただき、異常の有無や状態を調査に行きます。
橋やトンネルなどは、5年に1度点検をして、安全かどうかの判断をしています。

歩道のガタガタを直して 早急に国交省にお願いする 建設課長

岡田建設課長 1つ目の「歩道のガタガタを直してほしい」という提案をします。
2つ目は、街が明るくなるよう町内全域に街灯を増やしてほしいです。設置場所の希望は、8区の小道、中学校裏側の川沿い、福祉センター付近、1区、小舟団地方面(幼稚園付近)になります。
3つ目に、「バスの利用者が少ないので、利用が増えるような取り組みを行うこと。また、バ

防犯灯整備は補助
町が道路などに設置する場合と、地域が防犯灯として整備する場合があります。地域が設置する場合は補助金(2分の1)を交付しています。
路線バス(黒岩観光)は、割引として「定期券」「回数券」「障害者割引」を現在行っています。

ガタガタを直して

井上総務課長 町が道路などに設置する場合と、地域が防犯灯として整備する場合があります。地域が設置する場合は補助金(2分の1)を交付しています。
路線バス(黒岩観光)は、割引として「定期券」「回数券」「障害者割引」を現在行っています。

入停を役場前におく」という提案をします。
①年齢によって運賃を変えること。
②おち駅からイオンなどまで止まることなく送迎するバスを出すこと。
③団体割引や往復割引などがあるといい。
④役場前にバス停を設置すること。

町民バスの料金は、距離によって100円〜500円に設定されています。割引は、未就学児は無料、小学生、免許を返納された人、障害者手帳をお持ちの人は半額、回数券を10枚購入すると1枚付いてくるなどを行っています。
町民バスは、市町村運営有償運送によって運行しており、町内限定になつていのでイオンま

で行けません。割引は、運行に必要な経費と運賃収入のバランスを考えながら検討したいと思います。
黒岩観光の路線バスですが、「佐川町〜越知町〜仁淀川町」の路線となつていきます。町外の人々の利用もあり、利便性や運行時間を考慮して商店街を通らず「おち駅」での停車となつていこと

岡田建設課長 1つ目の「歩道のガタガタを直してほしい」箇所は、管理が国土交通省となつているので、早急に直してもらえよう、建設課からお願いします。
また、このような情報がありましたら、建設課にご連絡ください。職員が現地を確認し、対応します。
優先順位をつけ整備
井上総務課長 限られた予算の中で優先順位を付け整備を進めています。

②「現状と課題と提案」
現状：商店街を除き地域全体に街灯が少ない
課題：街灯が少ないと、夜道が危険で犯罪に巻き込まれる可能性がある。

町民バスの料金は、距離によって100円〜500円に設定されています。割引は、未就学児は無料、小学生、免許を返納された人、障害者手帳をお持ちの人は半額、回数券を10枚購入すると1枚付いてくるなどを行っています。
町民バスは、市町村運営有償運送によって運行しており、町内限定になつていのでイオンま

観光に詳しいことを記載した地図を 実現に向け検討していきたい 企画課長



詳しい地図はありません

大原企画課長 おちでごはんのほかに、詳しく掲載されている観光地図はありません。
「おちでごはん」の費用は、約28万7千円です。お店の取材から地図のデザイン打ち合わせ、印刷などで約8カ月掛かっています。

町外からの来客に食事ができるところを紹介する際に大いに役立っており、商店街に観光客を引き入れる効果があります。

問 「おちでごはん」のほかに1つの物事に対して詳しく掲載されている観光の地図はありますか。どのくらいの費用・期間がかかりましたか。また、どのような効果がありましたか。

詳しいことを記載した地図を

提案 越知町のいろいろなものの詳しいことを掲載した地図の作成を提案します。
詳しくものや場所を掲載した地図は越知町をより良く観光できるアイテムです。飲食店だけでなく、絶景ポイントでは、

横倉山、仁淀川、大樽の滝、休憩所では、新しくできた越知のまち小屋について写真を載せた地図を作ると良いと思います。
イベントでは、コスモスまつりやおなばれ、イルミネーションなどの情報を掲載した地図を作成したらよいと思います。

大原企画課長 中学生の実現に向けて検討

4班



問 「おちでごはん」のほかに1つの物事に対して詳しく掲載されている観光の地図はありますか。どのくらいの費用・期間がかかりましたか。また、どのような効果がありましたか。

テーマ【より良い観光作りを目指そう！】

現状&課題
・『おちでごはん』のように詳しく、正確に書かれた地図がない(目的地までの分かりやすい地図がない、また見つけにくい)

プラン
・『おちでごはん』のような詳しい地図を他のものでも作る(文字だけでなく、写真などあり)
・QRコードですぐに越知町の地図が出るようにする(Googleマップ)

絶景
越知町の大自然



中学2年生による議会見学は、元年に続き4回目となります。間近で見る議会一般質問の様子や内容、疑問、気づいたことなどについて感想をいただきました。その中から、4人の感想文を紹介します。

議会見学の感想文の一部を紹介します

今日の議会見学では、普段、見たり聞いたりすることのできないもので、住民の要望や不安など、議会でそういった話をしているのだと知りました。

僕が議会の中でおどろいたのは、まずキャンプ場を造るのに総額約4億9000万円もお金がかかっている、その利用客は県内から256人で32.5%、県外から532人で67.5%とたくさんの方が越知町に訪れているのだと知りました。

もう一つは、越知町でのワクチン接種は、どの世代も7割を超えていて、高知県や全国の状況においても変わらないくらい進んでいるので、こういうのはやはり議会でしっかり話し合われているからだなと思いました。

木屋 歩

議会を見て思ったことは、質問者の人が、予定どおりに質問をするのではなく、その場の話から出てきたことにさらに質問などをするので話し合いが深まっていると分かりました。他にも一人一人に配られた紙を見せていただく、全員がほとんど書き間がないくらい書き写していたので質問者以外の人はただ待つだけじゃなくて、しっかり話し合いに入っていると分かりました。議会の上にも町が成り立っていることが分かりました。

仲村芳真

今回議会を見学してみて、一人の質問に対し、具体的な数字を入れたりしながら答弁していくという形で話し合いを行っているということが分かりました。

この議会での話し合いを通して、越知町での観光業や新型コロナウイルスに対する対策が、今どのように進められているのかが分かりました。例えば、新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）は、先に救急隊員さんなどが今月、2月には私たち住民も接種できるということが分かりました。

また、越知町では、前年度に比べて観光地に来てくれた人の数が増えていたのというPRの仕方が効果的だったのかなと思いました。

中内祐花

今回、議会見学をして分かったことは、話し合いの仕方です。あらかじめ質問をまとめておいて、その流れに沿って話し合っていく、そうすることでスムーズに質疑応答ができるということを学びました。

質問をまとめた紙を順番に読むだけではなく、会議中に気になったことがあれば紙に書いていないことでも質問していました。このようにすると答える側はどんな質問がくるのか予想して準備しておくことが必要なので、とても意味のある会議になると思いました。

越知町は全国に比べて新型コロナウイルス接種者割合が大きく、かわの駅おちやキャンプフィールド利用者数も多いということが分かりました。

議会は一人の人を中心にたくさんの質問をし、それに対して関係している人が答えることで成り立っていると分かりました。

箭野瑞稀

3年度一般会計補正 8579万円

12月定例会は、3日から7日までの会期中に開き、議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定「13面に関連記事」給水条例の一部を改正する条例「13面に関連記事」、令和3年度一般会計補正予算など13件を全会一致で可決承認し、人事案件1件に同意しました。

議員提案の「保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）」と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書を全会一致で可決し、一般質問「15面から」は7人が登壇し執行部の考えをただしました。

3年度補正予算

会計名	補正額	総額	賛否
一般会計	8579万円	50億1836万円	賛成全員
簡易水道事業会計	100万円	1億264万円	
介護保険事業特別会計	2536万円	11億4418万円	
横倉山自然の森博物館事業特別会計	17万円	2879万円	



開催が待ち望まれるぼんぼりさくらまつり

保健福祉課

追加機能は

岡林議員 健康増進事業費委託料385万円の健康管理システム機能追加業務は、どのような機能を追加するのか。

マイナンバーカードで確認

國貞保健福祉課長 既存の健康管理システムにマイナンバーカードの機能を付け加えて、各自自治体やマイナンバーカードを持っている個人が健康管理システムで自分の健診状況などを見ることができるようになる。

企画課

事業目的と申請は

小田議員 観光協会への補助金67万円の事業目的と申請は。

ぼんぼりさくらまつり開催

大原企画課長 ぼんぼりさくらまつりの開催費用である。

観光協会の理事会で開催に向けて準備していくということになり、観光協会から申請は出ている。予算が可決されれば、その後変更申請の手続きに入る。

教育委員会

保育園改修工事に質疑集中

国・県の補助金は

武智議員 園舎改修工事には、国・県の補助金は付かないのか。

付いていない

小松教育次長 今回の園舎改修工事には補助金は付いていない。

別の業者か

武智議員 当初予算時に目視による見積もりをした業者と今回施工している業者は別か。

別の業者

小松教育次長 別の業者である。

見積もり方法は

武智議員 園舎改修工事の補正に至った理由は、足場をかけて工事を始めてから新たに補修の必要な箇所を発見したということだが、見積もり方法は。



安全ネットで囲われた保育園

教育委員会で変更

設計

小松教育次長 施工を行っている業者が施工方案を提出し、それを基に教育委員会で変更設計を行っている。

今の業者で施工か

山橋議員

外壁ひび割れなど222箇所、雨水防止が65箇所の補修が必要とのことだが、新たに足場などを組み直すとなると余分に工事費があるので、今の業者に施工してもらいたいとのことか。

今の工事で

小松教育次長 足場の設置を最初からやり直すと、100万円以上の予算が必要になる。工事を変更して対応するようにしたいと考えている。

織田教育長

当初予算の計上ときに目視による見積もりを基に設計し、発注後に増額することもあるかと思ったが、これほど増えるというのは想定外で反省している。

このような工事は、最初から調査設計等を行い、状況を把握しなければいけないと思っている。

一緒に行くのか

山橋議員 滝上町児童交流事業実行員会補助金820万円は、5・6年生の旅費か。一緒に行くのか。

別々に行く

小松教育次長 5・6年生への補助金で、別々に行くようにしている。2年度の5年生は感染症対策予防の観点で中止したので3年度に行くようにしている。5年生は2月の初め、6年生は2月の終わりから3月初めにかけて行くようにしている。



ひび割れ箇所に薬剤注入



令和元年の英語研修（グアム）

何か企画は

【節野議員】 修学旅行と英語研修がなくなり、教育の目玉となるようなところが全て減額となっている。3年生が卒業するまでに何らかの企画は考えているのか。

遠足など考えている

小松教育次長 中学3年生は、受験が始まるので英語研修を行うことは無理だと判断した。学校としては、受験後に小規模な遠足などを考えているようだ。

増額の理由は

【武智議員】 扶助費が小学校209万円、中学校218万円増額となっているが、理由は。

準要保護援助費

小松教育次長 準要保護児童援助費は、上半期には計上しておらず、今回予算計上するものだ。

旅費の内容は

【岡林議員】 非常備消防費の旅費89万円の内容は。

出勤費

谷岡危機管理課長 団員の出勤費である。

危機管理課

【武智議員】 準要保護児童援助費 経済的な理由によって、小学校、中学校に就学することが困難であると認められる児童及び生徒の保護者に対して生活保護制度に準じた必要な援助（就学援助）

産業課

業務に支障は

【武智議員】 地籍調査と一筆地調査合計で、4234万円と3割以上の減になっているが、現場ではどのような進め方になるのか。また、業務に支障はないのか。

支障はない

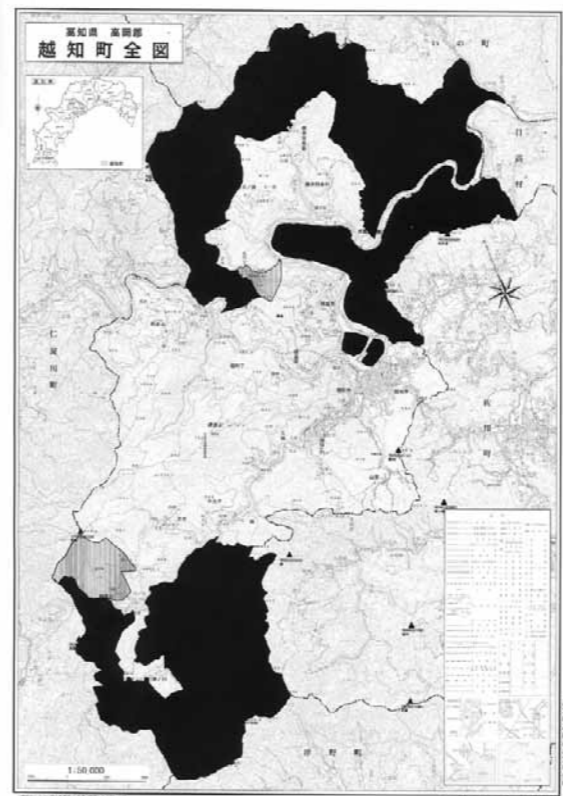
田村産業課長 県へ申請していた補助金は、決定率が71%と大幅な減となっている。現地一筆地調査は、横島中0.57kmを0.41km、桐見川地区1.94kmを1.58kmに減少。測量等は、横島中・桐見川地区での面積が2.5kmから1.99kmに減となっている。ある程度減額となることを予測しており、業務に支障はない。

未払いはないか

【武智議員】 委託面積より、実施面積が多くなり、業者に未払いが生じるようなことはないか。

未払いはない

田村産業課長 交付決定があつてから設計をし、入札をしているので、未払いなどはない。



3年度調査地区（斜線部分）、調査終了地区（黒塗り）

町長・町議会議員選挙は公営に

地方選挙の選挙公営と供託金

区分	公営の有無			供託金額
	選挙運動用自動車	選挙運動用ポスター	選挙運動用ビラ	
都道府県知事選挙	○	○	○	300万円
町村長選	× ↓ ○	× ↓ ○	× ↓ ○	50万円
町村議会議員選挙	× ↓ ○	× ↓ ○	頒布不可 ↓ 頒布解禁 公営対象	15万円

条例の制定

選挙は公営に

公職選挙法の改正により、町議会議員選挙及び町長選挙の立候補に係る

環境改善のため、選挙運動用自動車の使用・ビラやポスターの作成が公費となったことに伴い、選挙公営に関し必要な事項を定める。
《賛成・全員》

条例の一部改正

水道基本料金430円に 水道事業の経営統合により、地区ごとで異なる水道基本料金を430円に統一する。
(4月1日施行)
《賛成・全員》

人事



○教育長の任命
織田誠（再） 越知甲

任期は、令和6年12月23日まで
《同意・全員》

意見書

12月定例会に提出された1件を全会一致で可決し、関係機関に提出しました。

保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める

提出者 **武智 龍 議員**

保育所等における「密」な環境を是正し、感染対策を徹底し、手厚い保育を行うためにも、保育所の施設・職員配置基準の改善が急務である。
保育環境の改善、職員の処遇の改善に必要な財源を確保するよう強く要請する。

《賛成・全員》

提出先 **内閣総理大臣、厚生労働大臣他**

こんなことが決まったぜよ

山橋正男・・・16ページ



- ① 新型コロナウイルス
 - ・2回目接種割合は
- ② かわの駅 ・物販通過者は
- ③ ふるさと納税
 - ・国の方針に従っているか

武智 龍・・・17ページ



- ① 浅尾沈下橋
 - ・レガシーとして残したいものは
- ② 越知道路の完成は
- ③ 日ノ浦線の段差
- ④ 光ファイバー活用

箭野久美・・・18ページ



- ① 地域おこし協力隊
 - ・いつから受け入れを開始したか
 - ・農家とのマッチングや農地の整備を
- ② 住み続けたいまちづくり
 - ・中学生の感性を取り入れては

岡林 学・・・19ページ



- ① 中山間地域等直接支払制度
 - ・5期の内容に変更はあるのか
 - ・離脱の原因は
 - ・経緯は
- ② 林業振興 ・参入の話し合いは
 - ・業務内容は

市原静子・・・20ページ



- ① 子宮頸がんワクチン
 - ・副反応の声があったか
 - ・今後の対応は
- ② 防災対策 ・進捗状況は
 - ・防災グッズを展示
 - ・早期整備を

高橋丈一・・・21ページ



- ① 道路行政
 - ・町道西ノ芝4号線の道路拡幅は
 - ・役場前久万目線は
- ② 環境行政
 - ・粗大ごみ処理方法の改善を

西川 晃・・・22ページ

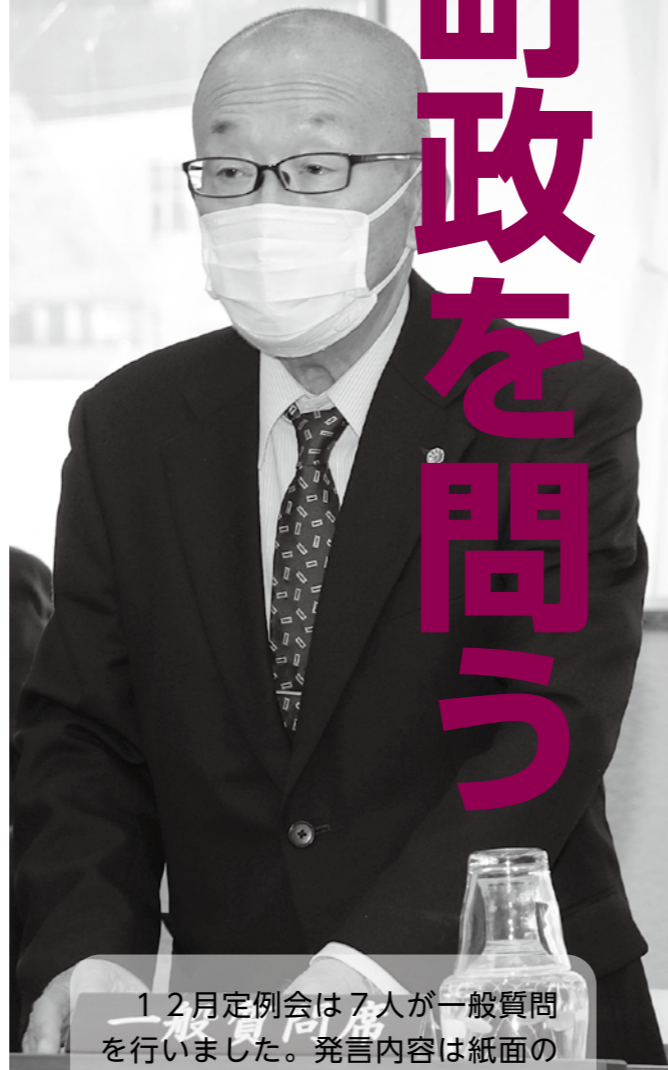


- 3期目の取り組みと戦略
 - ・今後の取り組みは
 - ・今後の戦略は
 - ・越知町をどのように描いているのか

一般質問 7人登壇

ズバリ!!

町政を問う



12月定例会は7人が一般質問を行いました。発言内容は紙面の都合で要約していますので、ぜひ議場に足を運んでいただき、白熱した議論を傍聴してください。
 なお、全文を記載した会議録は、議会事務局と町のホームページ (<http://www.town.ochi.lg.jp>) でご覧ください。

補正予算

住民税非課税世帯等に

1世帯当たり 現金給付10万円



住民の生活・暮らしを支える支援を

臨時会を、1月19日に開き、3年度一般会計補正予算1件、専決処分1件を、全会一致で可決・承認しました。

予算

一般会計補正
1億2881万円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した人々が、速やかに生

活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり10万円の現金をブッシュ型で給付するなど1億2881万円を追加し、総額を51億7391万円とする。
 《賛成・全員》

専決処分

一般会計補正

18歳以下の子どもに対し、児童1人当たり10万円給付

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て世帯を支援するため、18歳以下の子どもに対し、給付金を支給する。
 今回1人当たり5万円を追加し、対象児童1人当たりの支給額を10万円とするため、2675万円を追加し、総額を5億4511万円とする。
 《承認・全員》

議会報告・懇談会は中止します

平素は、議会運営に対しまして温かいご指導、ご理解を賜り厚くお礼申し上げます。さて、平成24年6月に制定しました基本条例に基づき、議会報告・懇談会を各地区や町内で開催しておりまして、これまでに13回開催し297人の方に参加していただき、ご意見やご質問等をお聞きし町政に反映してまいりました。
 しかしながら、新型コロナウイルスの新変異株の感染拡大を受け、全国各地においてまん延防止等重点措置が適用される事態となっております。高知県におきましても特別警戒レベルとなりましたことから、2月に開催を予定しておりました3年度の議会報告・懇談会は、感染拡大防止のため中止することといたしました。
 町民の皆様には誠に申し訳ありませんが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。



武智龍 議員

浅尾沈下橋

レガシーとして残したいものは

映画に出たままの沈下橋と自然だ 企画課長

沈下橋と自然だ
大原企画課長 映画に出たままの浅尾沈下橋と自然を残したいと考えている。今後人も呼び込むための整備をすることは考えていない。

問 浅尾沈下橋は人工構築物でありながらも自然の風景にすっかり溶け込み、聖地巡礼で一気に全国的に有名になった。レガシー（遺産）として残したいものは何か。

答 残したいものは

大原企画課長 映画公開日の7月16日からシャトルバスと警備員を配置した。11月までに1万3456人が訪れた。

1万3456人

問 聖地巡礼の客数は

答 浅尾沈下橋の聖地巡礼客の受け入れには、多額の予算と人を入れたが、期間中の来客数は



浅尾沈下橋と鎌井田地区

問 若者たちと話しせよ

答 沈下橋ができるまでには地元の人たちの並ならぬ努力があったと聞く。中でも故岡林茂一さんは、役場や県庁に日参するほど熱心に運動され完成後には、「茂一橋」とも言われていた。

景観に配慮し、駐車場やトイレの他、このような物語が書かれた説明板があれば、リピーター増や地域内外の人材育成につながるが、若者などの話し合いや活動を支援する考えはないか。

日ノ浦線の段差

問 町道日ノ浦線有ノ谷付近の路面には複数の亀裂や段差ができており非常に危険だが対策は

小田町長 完了時期は公表されていないが、楠神地区は4年度中に通行止めから回避できる。通行止めの場所は聞いていない。

公表されていない

問 国道33号越知道路の工事は進んでいるが、完成予定はいつ頃か。
答 大雨などで通行止めとなっていたが、場所は変わるのか。

越知道路の完成は

大原企画課長 地域のリーダーとの話し合いや支援は考えていなかったが検討したい。

検討する

地すべり対策も視野

岡田建設課長 路面補修は12月中旬に終わる。現在、沈下原因究明の観測調査中だが、結果次第では地滑り対策も考えている。

光ファイバー活用

問 3年度末には町内全域に光ファイバー網の整備が完了するが、行政事務や事業推進上の活用計画は

井上総務課長 博物館や集会所などに公衆WiFiの設置を考えているほか、携帯電話不感地区の解消に役立てる。

光回線を活用した映像配信も調査中で、移住や空き家の活用などにもつなげたい。

行政事務手続きのオンライン化は、費用対効果と検証に時間が必要だ。

その他の質問

雨除けハウスの補助
問 設置費用が安く栽培管理も容易な簡易雨よけハウス資材の補助制度新設の考えは

効果を見極めたい

田村産業課長 投資効果や交付対象者等を見極めたい。

宮の前公園広場のキャンプの使用料は

大原企画課長 有料にする考えはない。

新型コロナウイルス

2回目接種割合は

84.55% 保健福祉課長



山橋正男 議員

問 本町の11月末現在の新型コロナウイルスワクチン2回目接種割合は

国民保健福祉課長 12歳以上の接種対象者のうち2回接種完了しているのは、84.55%である。

年代別状況は

問 本町の年代別接種状況と、県・国との比較は

65歳以上87.70%

国民保健福祉課長 12歳

19歳73.23%、20代71.68%、30代76.28%、40代79.77%、50代88.78%、60代88.80%、65歳以上が87.70%である。本町の接種率は県内では高く、国と比べてもあまり差がない。

3回目はいつから

問 3回目ワクチン接種は、国の方針が決まらず大変困惑されていると思う。本町はいつからか。

住民は2月から

国民保健福祉課長 2回目接種後8カ月経過した人から準備をしている。高吾北消防救急隊員は12月から接種を始める。4年1月から町内の医療従事者、2月から住民が対象となる。町内の医療機関で個別接種となる。

かわの駅

物販通過者は

問 3年度11月末現在のかわの駅おち物販レジ通過者、住箱の宿泊者数の前年度との比較は。建築費用等の総額と雇用状況は

1万5978人

大原企画課長 1万5

978人。前年比26.9%増。プラス20.26%。町内0%、県内32.5%、県外67.5%。住箱788人でプラス45.66%。総事業費は約7億円。現在、正社員1人、準社員1人、フルタイムアルバイト2人、パートアルバイト4人の計8人。町内に7人が住んでいる。

宿泊者数は

問 スノーピークおち仁淀川キャンプフィールドの宿泊者数、住箱の宿泊者数は。前年度との比較と建設費用は

4648人

大原企画課長 テント

サイトの宿泊者は4648人。前年比40人増のプラス0.87%。住箱は1182人、前年比15.4%減、マイナス11.53%である。町内1.6%、県内24.9%、県外73.5%、海外2人。合計で4億9299万2949円である。

還元金額は

問 かわの駅キャンプ場指定管理料還元は、スノーピーク社の自主事業を除く収入が黒字となった場合、3割を上限として町に還元する契約になっているが、金額は

大原企画課長 平成30

年度の還元は47万3478円。元年度は118万8111円。2年度は支出の方が多いため還元はない。

ふるさと納税

国の方針に従っているか

問 国の方針ではふるさと納税の返礼品は、町産品で寄付額の3割以下と決まっている。本町は国の方針に従っているのか。

全て国の基準を守っている

大原企画課長 本町の返礼品は全て3割以下で国の基準を守っている。



矢野 久美 議員

問 地域おこし協力隊の制度は平成21年度から始まっているが、本町ではいつから受け入れを開始したか。

答 ミッションによって、今越前に住んでいる地元の人にやらせてもらえればよいという住民の声があるが、どのような条件があればよいのか。

問 受け入れ隊員数は

答 本町におけるミッションの種類と受け入れた隊員数は、

合計34人

大原企画課長 平成24年度から始めた。

都市地域からの移住が必須

大原企画課長 地域おこし協力隊の人員費及び活動費は特別交付税措置があり、要件として都市地域からの移住が必須となっているため地元から採用できない。当町出身で現在都市地域に在住している人は採用の対象になる。

定住した人数は

答 退任後、本町に定住した人数は、

12人

大原企画課長 3年間の任期を満了したのは11人で、うち10人が定住している。



協力隊OBが「金ちゃんの屋台」をオープン

また任期途中で退任した人のうち2人が定住している。

農家とのマッチングや農地の整備を

問 各種ミッションがあるが、一次産業を守るために農業をやりたい若者を募集すべきと思う。そのためには、農家とのマッチングや農地の整備も必要と思うが。

田村産業課長 体制整備は重要な課題で十分に検討していかなければならないと考えている。

住み続けたいまちづくり

中学生の感性を取り入れては

問 住み続けたいまちづくりに中学生の感性を取り入れては、中学生がま

ちづくりを考えることで、本町の産業の現状や、今後も町を持続させるために必要なことは何かを学ぶことができ、チャレンジショップ企画・実行することで商店街活性化の刺激になるのでは。

研究したい

織田教育長 中学生が自分たちの視点で町のことを考えることはとても良いと思う。

町を知り住民と触れ合い、町の未来を考える体験を通し、町への愛着を深め誇りを持ち、貢献したいと思えるようになる機会となり、また将来のキャリアや生き方を考える機会にもなると思う。

地域おこし協力隊

いつから受け入れを開始したか

平成24年度から

企画課長

大原企画課長 平成24年度から26年度まではフリーミッションで27年度からは観光・農業・移住定住・地域活性化・地域資源活用・有害鳥獣対策・ふるさと納税・食品産業・PRが主なミッションで、採用人数は24年度1人、順に2人、1人、4人、8人、3人、3人、3人、2人、令和3年度7人で合計34人である。

中山間地域等直接支払制度

第5期の内容に変更はあるのか

耕作維持を中止のみ返還



第5期制度を活用し中山間地域の農地を守れ

問 本町の農業振興、生産活動支援は大変重要である。

答 中山間地域等直接支払制度の第4期から第5期への変更内容は、

産業課長

田村産業課長 第4期までは、一筆でも耕作、または維持を中止した場合、協定単位ごとに全額返還となっていたが、第5期からは緩和され、耕作維持を中止した当該農地のみの返還に変わった。また、急傾斜地・田畑で交付金単価の加算措置が新設された。

経緯は

問 平成26年に活動を終了した日ノ浦地区から協定の復活要望があり、4年度から取り組みの開始を目指すと言っていたが、その経緯は。

代表者のめどが

田村産業課長 代表者が決まらず離脱することになったが、代表者してくれる人のめどが立ちそうなので、復活に向け進んでいると聞いている。復活を目指す成功例として、他にも広げていければと考えている。

林業振興

参入の話し合いは

建設業者トップと話したこともある 副町長

國貞副町長 建設業者のトップと話したこともある。参入は簡単ではないが、施業できる環境は整ってきていると思う。今後も適切な森林管理を行うにつれ、民間事業者と共にさらに連携を図りながら、林業振興・雇用の確保につながる取り組みを進めていきたい。

業務内容は

問 6月に法人登録を完了した1事業者の業務内容は。

森林経営管理計画の作成に向け準備

問 本町は80%以上山林があり、林業振興は重要である。林業参入へ向けた建設業者との話し合いはしているのか。

岡田建設課長 3年6月3日に設立された「めぐみ林業株式会社」であり、事務所は女川にある。現在2人体制で、4年度の森林経営計画の作成に向け準備を行っている。



岡村 学 議員



市原静子 議員

子宮頸がんワクチン

副反応の声があったか

申し出などは聞いていない 保健福祉課長

副反応はあったか
問 子宮頸がんワクチンの有効性や安全性のデータが国内や海外で報告された。
 厚生労働省は、4年4月から呼びかけ再開を決めた。
 本町でも平成23年4月から3力年にわたり接種を実施したが、副反応の声はあったか。

国民保健福祉課長 平成23年度から25年6月までワクチン接種した人は134人である。
 接種した人で腕の痛み等、症状はあったかもしれないが、当時の保健師も副反応の申し出などは聞いていない。

今後の対応は
問 定期接種の対象は小学6年生から高校1年生となっているが、ワクチン接種と早期発見で効果

があり、命を守ることができる。接種機会を逃した人と今後の対応は、予診票の個別送付

国民保健福祉課長 積極的な勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した人への対応は、公費による接種機会の提供などに向け対象者や期間など、議論を開始したところであり、今後方針が決定次第、速やかに周知する。

国からの通知に従い、4年4月から対象者または、その保護者に対して予診票の個別送付を行うこととする。

防災対策

進捗状況は

問 災害時、自力の移動が困難な高齢者や障がい者を避難させる「個別避難計画」は、対象者全員の計画を作成済みの市町村は、全国で1割程度である。
 改正災害対策基本法では、計画作成は市町村努力義務となっているが進捗状況は。



自分に合った防災グッズを

100%達成

国民保健福祉課長 避難行動要支援者名簿を3年9月30日現在1049人登録している。

そのうち、「個別避難計画」の作成同意者数659人と作成済みが同数となり本町は100%達成している。
 地域の実情に詳しい民生委員や区長の訪問調査による成果である。

防災グッズを展示

問 災害時に備え自宅に置く非常用持込袋に入れる防災グッズを展示してほしいとの声がある。
 人によって必要なものが異なるので、役場、町民会館等で来た人が見えるようにすれば防災意識が高まるのでは。

展示を検討したい

谷岡危機管理課長 個人備蓄が基本であり、どの

ようなグッズがあるのか実物を見ていただくことは、効果的な啓発になると思う。
早期整備を
問 自然の森博物館の看板は色あせて見えづらいと町民の声がある。早期に整備を。

3月までに
織田教育長 現在、地域おこし協力隊と協議しており、3月末までに塗り替えを計画している。
 また、3年2月に撤去していた看板も新しく設置する予定である。

道路行政

町道西ノ芝4号線の道路拡幅は

共有地の協議が完了すれば着手できる 建設課長



共有地となっている入り口

両が侵入できるよう道路拡幅の概略設計はできている。
 入り口にある共有地の協議が完了すれば着手できると考えている。

少し時間を

国民副町長 共有地の総面積は2380㎡あり、道路用地分のみ買う方針から見直しをする必要が出てきた。
 道路用地以外の土地を購入するとすれば多額の予算が生じてくることになり、活用する用途を明確にして計画を立てておく必要がある。
 庁内に検討委員会を設置し、私と企画課を中心に関係する課で協議をしており、少し時間をいただきたい。

用地交渉が遅れている

岡田建設課長 3年度に着工する予定であったが、用地交渉がまとまらず遅れている。
 物損事故も発生しているようなので、早期解決に向けて取り組む。



搬入されるソファなどの粗大ごみ

問 高齢者は粗大ごみ処理対策の改善を待っているが。

小田町長 高吾北広域の3町とも粗大ごみの処理等で苦慮しており、協議をして案も出たが結論は出ていない。
 高齢者の皆様が苦労している現状を改善するために、方法を協議し、早急に対応したい。

環境行政

粗大ごみ処理方法の改善を

協議を続け早急に対応したい 町長



西川 晃 議員

3期目の取り組みと戦略

越知町をどのように描いているのか

人が集まる町を目指していきたい 町長



滞在型観光としての役割は大きい(スノーピークおち仁淀川)

今後の取り組みは

問 総合戦略の中で、商業と観光の連携を目標としている。コロナ禍で不透明な状況が続くと思うが、今後の取り組みは、

磨き上げていく

小田町長 本町は通過型で町にお金が落ちてないという訴えがあり、1期

目から滞在型観光を目指し、スノーピークや、かわの駅おち両施設での町内業者の商品販売、商店街への宿泊者誘導、町内業者によるテイクアウトマーケット出店など、一定の成果はあったがこれをさらに強化、磨き上げていく。コロナ感染対策は国・県と連携し、しっかりとやっていく。

今後の戦略は

問 町独自の給付金支給地域振興券配布を決定したこと、「アウトドアなまちにするぜよ」宣言によるPR活動を高く評価する。

今後の戦略は、

インバウンド

小田町長 コロナの影響を比較的受けにくいアウトドアの特性を生かし、この豊かな自然環境を今後のPR活動とし、それからプロモーション戦略を練りたい。

1つ目のポイントは、「竜とそばかすの姫」を海外にアピールしてインバウンドを期待する。

2つ目は、魅力ある仁淀川のまだ知られていない支流や谷・山の絶景地を発信していきたい。

3つ目に、食や町の風情にスポットを当てて、町歩き面白さをPRしたい。
この3点を新たな戦略としていく。



仁淀川中流域は自然の魅力がいっぱい

越知町をどのように描いているのか

問 3期目を目指すにあたりどのような越知町を描いているのか。

人が集まる町

小田町長 私の使命は住民の命と暮らしを守ることであり、予期せぬ災害にも対応する。

総合戦略の中で、「町が育ち、人が育ち、仕事が出たものもあるが、まだまだである。

人が集まる魅力的なまちづくりを目指し、住民が安心して暮らしていることを基本として取り組んでいく。

総合戦略を検証・評価



創生総合戦略の検証・評価が行われた全員協議会

11月25日に、町幹部職員を交え全員協議会を開き、まち・ひと・しごと創生総合戦略「おち家の挑戦」の3年度上半期取り組み状況について、検証・評価を行った。

【基本目標1】地域資源を生かし雇用を創出(農業の振興)

地域農業の支援事業

予定地域は

武智議員 3年度下半期以降の取り組みで、集落の状況等の聞き取り調査を再開し地域の将来計画を作成とあるが、予定地域は、

また、浅尾地区は聞き取り調査をしたので、将来計画を作る作業に移るのか。

鎌井田と柴尾地区

田村産業課長 鎌井田と柴尾地区で座談会を開催する予定である。

将来計画(人・農地プラン)は、一部で将来計画を作って合体させて一つの計画と思っていたので、浅尾地区1つを公表

する考えはなかった。今後勉強していく。

販売できないか

新たな特産品開発と販売促進

市原議員 3年度下半期以降の取り組みで、越知町文化祭で「花岡の揚げまんじゅう」の販売と今まで試作してきたレシピ等の展示とある。分析検証には、試験販

研究している

大原企画課長 産業課と連携し、食品関係に詳しい県からの派遣職員にも関わってもらい販売できるように研究している。



協力隊が「花岡の揚げまんじゅう」を再現

地域おこし協力隊
による新規就農

把握しているか

武智議員 3年度下半期以降の取り組みとして、後継者不足の品目を栽培し就農を目指す協力隊を募集するところがあるが、耕作者の意向を把握しているのか。

座談会で聞き取り

田村産業課長 座談会で、今後耕作をしなくなる農地、使わなくなる農機具、現在貸したい農地などの聞き取りをし、リストを作って、それをもとに新規就農者とのマッチングを考えている。

スピードを上げて

武智議員 意向調査は、スピードを上げて全体を把握し、早くリストを作ることが大事ではないかなるべく早く進めていきたい

田村産業課長 農地のアンケートを一度行っている。データや土地が誰のものか調べて座談会を開催し、なるべく早く進めていきたい。



浅尾地区で開催された座談会

特用林産物の生産・販売支援



シキミ・サカキの出荷作業(野老山地区)

具体的な改善策は

高橋議員 見えてきた課題で、野老山地区シキミ・サカキは、ほ場が上ノ峠集落にあり、急な注文への対応不可とあるが、それに対応できるように具体的な改善策を考えているか。

できていない

大原企画課長 野老山の集落支援員、地域おこし協力隊も関わって、地区の人と検討しているが、対応策はできていない。

チャレンジシヨツ
プ活用事業

シェアオフィス整
備事業

その後の対応は

西川議員 施設の整備として菓子製造と販売を同時に行うことが困難であったため断念とあるが、その後の対応は。

作ることが先

武智議員 シェアオフィスの見えてきた課題として、どの業種の企業にアプローチしたらいいのか難しい、3年度下半期以降の取り組みとしてソフト事業に対する補助金を研究とあるが、シェアオフィスを作ることが先と思うが。

製造販売できるよう
研究

大原企画課長 食品衛生に基づく法律が変わり、製造販売を同一力所でする場合は、今の設備では不備がある。今後、製造販売ができるように研究し、それに対応できる施設整備も考えている。

手を上げてくれる
人がいないと難しい

大原企画課長 コロナ禍になり、シェアオフィスだけでなく、ワーケーション、テレワークが増えてきており、一番合っているものを研究している。先進地に聞くと、シェアオフィスを開く前に手を挙げてくれる人がいないと難しいとのことだ。

カヌー・ラフティングのインストラクターやツアーガイドの養成

何人いるか

武智議員 町内で活動しているガイド・インストラクターは何人いるか。

横倉山のトレッキングは常時3人

大原企画課長 横倉山のトレッキングは常時3人を確保。スノーピークのガイドは基本2人、ヘル

企画しているのか

西川議員 見えてきた課題のテイクアウトマーケットの継続的な開催や、ブラッシュアップへ向けたさらなる出展者の掘り起こしをするために、新たなPRなどを企画しているのか。

(株)スノーピークと
連携した情報発信
と経済効果の創出

プで何人か来ていると聞いている。

チラシを検討

大原企画課長 デザイン関係の協力隊員を雇用しており、効果的なチラシを作ってもらうことを検討している。

【基本目標3】若い世代・子育て世代の希望をかなえ、住みたい・住み続けたいまちづくり

育児世帯が避難した場合などに必要な防災物資の充実

おむつ処理の袋は

箭野議員 防災物資のおむつは充実していると思いが、処理する袋も構えているか。

再検討する

谷岡危機管理課長 トイレの処理袋等は整備をしているが、おむつも再検討する。

【基本目標4】越
知の未来を担う人
づくり

保幼小中連携教育
の推進

増えているのか

箭野議員 支援が必要な子どもへの対応は、中学校・小学校共に増えているのか。どういった種類の支援が必要なのか。

小・中学校共に増えている

小松教育次長 小・中学校共に増えている。幼稚園・保育園についても同じことが言える。

國貞保健福祉課長 発達障害のある児童が増えてきている。サービスの利用も増えている。

学力向上対策支援



アクティブラーニングの手法を用い学習する児童

新しい先生を

箭野議員 課題解決型のアクティブラーニングの学習方法は大事だが、タブレットを活用する新しい取り組みをするような先生を探すことも必要ではないかと思う。小学校と中学校の形態が必ずしも同じである必要もないと思うので、現行の先生にはいつまで来てもらうのか。

後2年間

織田教育長 タブレットの活用は、文房具的なものとして考えている。これから大人になっていくためのものと考え、多様性のある時代を生き抜くための基礎的なもの考え方としてアクティブラーニングは、良いものだと考えている。今後2年間同じ先生に来ていただき、組織づくりをしていく。

熱中小学校の受講
呼びかけ・PRは

山橋議員 見えてきた課題で、町内からの参加者が少ないとあるが、呼びかけ・PRの内容は。

商工会・観光協会

大原企画課長 商工会・観光協会などの会員のニーズを聞いて、興味のある講義を企画し、PRしていく。



こうち仁淀ブルー熱中塾

高校と産業界及び行政の連携による人材育成

以前受け入れ先は

箭野議員 3年度の実施計画で新たなインターンシップ先の選定とあるが、以前の受け入れ先は。

高吾北消防署本部

大原企画課長 高吾北消防署本部、役場、(株)岩や、(株)岡林農園、五葉荘、社会福祉協議会、ヒューマンライフ土佐、(有)三宮商事、(株)スノーピークの9カ所が受け入れた。

〔基本目標5〕安心していつまでも暮らし続けられる地域づくり

集落活動センター事業

誰が同行したか

武智議員 集落活動センターと集落支援員事業の関係だが、産業課と企画課が連携してスピードアップしてやらなければならぬと思うが、県の意向調査に誰が同行したのか。

地域活性化に取り組む協力隊員

大原企画課長 地域活性化に取り組む地域おこし協力隊員が同行し、地域カルテも作っている。



サンブラザの移動販売車

移動販売事業者の支援

どこの地区を回っているか

市原議員 補助事業者がサンブラザになっているが、サンブラザのバスはどこの地区を回っているのか。

野老山、楠神など

田村産業課長 野老山、楠神、片岡、南片岡、宮地のほか、市街地でも販売している。

自助・共助の意識啓発及び地域防災活動の推進

何ミリリットルか

箭野議員 ミネラルウォーター500本とあるが、何ミリリットルで賞味期限は。

1000ミリリットル

谷岡危機管理課長 1000ミリリットル入りで、5年である。



計画的に備蓄が進められている

賞味期限は

岡林議員 マジックライストとあるが、賞味期限は5年。谷岡危機管理課長 ものによって違うが、大体5年である。

広域議会

第4回定例会が11月29日に開かれ、令和3年度補正予算など4件を全会一致で可決し、人事案件1件に同意しました。
一般質問は、1人が登壇しました。

組合長報告

職員採用試験

4年4月採用予定で募集を行い、応募者39人のうち、25人が構成町外からの応募となっており近年、構成町外からの応募割合が高くなっている。教養試験、面接試験を行い、行政職2人、管理栄養士1人、看護師2人、介護職等4人に合格通知を送り、全員から任用願出書を受領している。

特別養護老人ホーム春日荘

空調設備等改修工事は、空調設備8台を追加するため、工事請負金額を791万1252円増額し、総額4327万6252円に、工期を2カ月延長し、4年1月31日までとする。

清掃センター

ばいじんの水銀濃度が基準値を超過し、県外民間最終処分場への搬出を停止していたが、下回ったので10月末から搬出を再開している。

6月末から搬出できなかったばいじん88tは、組合最終処分場に埋め立て処分をした。今後ともごみの分別の徹底を3町の広報誌等を通じて行い、無害化・ごみの減量化に取り組む。

補正予算

《賛成・全員》

会計名	補正額	総額	
一般会計	△334万円	9億9341万円	
特別会計	特別養護老人ホーム	△2154万円	13億3263万円
	養護老人ホーム	△385万円	1億560万円
	障害者支援施設	1億5686万円	3億3573万円

一般質問

小田範博 議員 (越知町)

どのように改善を

問 粗大ごみのベツトやソファーなどスプリングの入っているものの解体は、高齢者には不可能であり、若い人でも容易にできない。



スプリングを外し搬入されたソファ

越知町長は、3年3月越知町議会定例会の一般質問で、3町で共有する課題であり話し合いをしているとのことであったが、3町でどのように改善を進めていくのか。

補助金等を検討

小田組合長 今までは自己負担で解体処理することとなっていたが、再度、3町の衛生担当者で協議をし、高齢者に対して独自に補助金等で支援することを検討することで合意した。

収集は町、処理は組合なのでスプリング入りマットレスが分解されないまま搬入されると現在の人員では処理できないと考えている。シルバー人材センター等の手を借りて処理することも可能であり、補助金との両面で検討していきたい。